海外語学研修・交換留学報告書

（様式４）

交換留学及び語学研修に参加する皆さんは、帰国後に海外留学報告書を提出することになっています。つきましては、下記の様式を使用して、帰国後１ヶ月以内に提出してください。福山大学海外留学奨学金の授与に関しても、同報告書を提出することが必須条件です（奨学金の授与の詳細・日程については、帰国後に改めて連絡します）。

※ 提出先：学務部国際交流課　int@fukuyama-u.ac.jp

※ 後輩学生のために、留学生活の様子が分かる写真・動画を出来るだけ多くご提供ください。

※ 提出した報告書の内容及び写真・動画は、ホームページ・学報・大学要覧などの広報媒体に掲載されることがあります。掲載を希望しない場合は、本様式の欄外にその旨を記載する方法で申し出てください。

※

氏名	麻生　凜々子	留学先大学	ウダヤナ大学
学部・学科	薬学部・薬学科	留学の種類	語学・交換・その他（サマーキャンプ）
学生番号	7123004	留学期間	2026年8月9日～2026年8月18日

１．留学前

留学の動機・目標	海外の医療や文化に実際に触れ、日本とは異なる環境の中で、どのように医療が行われているか学びたいと考え参加しました。 また、他国の医療学生との交流を通して様々な価値観に触れ、自分の視野を広げるとともに、将来必要なコミュニケーション能力や相手を思いやる姿勢を身につけることを目標としました。

２．留学中

授業内容	バリ島での医療について日本との違いを知ることができました。 伝統医療と現代医療を組み合わせた、身体の治療と精神の治療の両方を組み合わせた治療が行われていると学びました。 宗教やスポーツなどを大切にしている治療方針や国の医療制度、環境、患者との関わり方について学びました。 また、他校や他国の医療学生と意見を交換し、様々な視点を持っていることを知りました。
ホームステイや寮での生活	ホームステイや寮での生活ではありませんでしたが、現地で生活する中で日本とは異なる文化や生活習慣を実際に体験することができました。 言葉や文化の違いがある中でも現地の方々があたたかく接してくださり人々とのつながりや思いやりの大切さを強く感じました。普段当たり前だと思っていた生活や環境を見つめ直すきっかけにもなりました。

週末の過ごし方	10日間でバリ島の観光地を訪れたり、ウダヤナ大学の学生さん達や他校の学生さん達と一緒に食事や観光を楽しんだりしながら、現地の文化や自然に触れました。滞在とは異なる環境で多くの人と交流し、友人を作ることができ、学習だけでは得られない経験をすることができました。
経費（渡航費、月額生活費、受給奨学金額、旅行費等）	航空券は13万円 宿泊費や食費など旅行費はサマーキャンプ参加費として650ドル、約10万円
留学中の記憶に残るエピソード	特に印象に残っているのは、最後の夜に行われたディナーです。そこで、10日間を共にした皆んなとの思い出や出会いに感謝の気持ちでいっぱいになりました。ウダヤナ大学の学生さん達へ分け隔てなく接し、互いを思いやる姿に触れ、人とのつながりの大切さを改めて感じました。また、自主性が高く積極的に何事にも参加する姿勢に、自分自身も意識する姿勢を学びました。一緒に学び笑い、たくさんの経験を共有した日々は、かけがえない思い出となりました。
3．留学後	
留学目標の達成度 どのような点で成長したと感じるか	今回の研修を通して、海外の文化や医療について実際に学び、当初の目標を達成できたと感じています。特に異なる文化や観点をもつ人々と関わる中で相手を理解する姿勢、柔軟な考え方を身につけることができました。 また、海外で過ごした経験は自分自身を見つめ直す貴重な機会となり、これから医療に携わる者として、知識だけでなく人への優しさや思いやりを大切にしたいと強く感じました。
今後の目標（短期留学の場合、中長期交換留学への参加希望があれば記載）	今回の経験を一度きりの思い出で終わらせず、今後の学習や将来の医療現場で生かしていきたいです。様々な文化や価値観を尊重し、どの国の人であっても患者一人ひとりに寄りそうことのできる人になれるよう、専門的知識だけでなくコミュニケーション力や人間性も磨いていきたいです。 今後も積極的に海外や異なる文化に触れていきたいと考えています。
来年度以降の参加者へのメッセージ	海外研修や異なる文化の中に身を置くことは、最初は不安に感じることもあると思います。しかし、実際に行ってみることで日本にいるだけでは気づけない価値観や考え方に出会うことができます。このサマーキャンプでは、バリでしか体験できないアクティビティや伝統的な施設を訪問し、文化を学ぶことができます。人との出会いや一緒に過ごす時間を大切にして、ぜひ積極的に挑戦してみてください。

＊文字数に上限はありません。枠をはみ出してしまう場合には、枠を適宜広げてお書き下さい。

＊報告書に記載された情報は、海外語学研修・交換留学プログラムの運営、その他、海外留学や語学留学の運営に利用します。

海外語学研修・交換留学報告書

（様式４）

交換留学及び語学研修に参加する皆さんは、帰国後に海外留学報告書を提出することになっています。つきましては、下記の様式を使用して、帰国後１ヶ月以内に提出してください。福山大学海外留学奨学金の授与に関しても、同報告書を提出することが必須条件です（奨学金の授与の詳細・日程については、帰国後に改めて連絡します）。

※ 提出先：学務部国際交流課　int@fukuyama-u.ac.jp

※ 後輩学生のために、留学生活の様子が分かる写真・動画を出来るだけ多くご提供ください。

※ 提出した報告書の内容及び写真・動画は、ホームページ・学報・大学要覧などの広報媒体に掲載されることがあります。掲載を希望しない場合は、本様式の欄外にその旨を記載する方法で申し出てください。

※

氏名	久渡　心優	留学先大学	ウダヤナ大学
学部・学科	薬学部、薬学科	留学の種類	語学・交換・その他（サマーキャンプ）
学生番号	7123030	留学期間	2026 年 8 月 9 日～ 2026 年 8 月 18 日

１．留学前

留学の動機・目標

学生のうちに海外経験をすることによって、将来の選択肢を広げるとともに、
国際交流を通して異文化を体験し、日本との違いを知る。
バリ島の医療を学ぶ。

２．留学中

授業内容

・「バリの健康と文化」
伝統舞踊や伝統的な儀式、習慣は身体だけでなく、心や精神の健康にも深く関係している。バリでは、伝統治療と現代医療がお互いに補いながら調和している。
医療従事者は、患者さんの文化や価値観を尊重し、コミュニケーションを取る必要がある。
良い医療とは、病気だけを見るのではなく、患者さんの文化的、社会的、精神的な背景まで理解することができるということ。

ホームステイや寮での生活

4人ずつのグループに分けられ、現地の大学生がリーダーとして各グループについてくれる。10日間のプログラムでは、ほとんどの時間をグループで過ごす。
自由時間以外は、決められたプログラムに従って、全員で行動する。
毎日、LINEでのモーニングコールがある。ホテルでの行動は自由。朝に、ホテルのレストランで朝食を食べる。

・「健康のための旅行前の備え」
旅行者それぞれに必要とされる予防接種をしておくことや、常備薬を準備しておくことの大切さ。
必要に応じて、旅行先で適切な医療を受ける。
渡航先で流行している感染症や感染症を媒介する虫などについて事前に知っておくことが重要。

週末の過ごし方	フリータイム 自由に観光などを行うことができる。
経費（渡航費、月額生活費、受給奨学金額、旅行費等）	参加費　650ドル 渡航費　約12万円 奨学金　渡航前　2万円 渡航後　6万円
留学中の記憶に残るエピソード	バリ島の伝統舞踊劇を鑑賞したり、実際に伝統舞踊の体験をすることで、バリ独自の文化に触れることができた。cultural night では、大学ごとに出し物をしたり、現地の学生が企画したイベントを通して一緒に盛り上がることで、言語や宗教の壁を超えてつながることの楽しさを実感することができた。四輪バギーでジャングルを駆け巡るアクティビティや、パラセーリング、バナナボートなどのウォーターアクティビティを通して、グループの仲を深めることができた。

3．留学後

留学目標の達成度 どのような点で成長したと感じるか	今回のサマーキャンプを通して、バリの文化や医療について実際に経験したから学ぶことができ、当初の目標を達成することができたと感じている。特に、現地の学生との交流を通して、自分とは異なる考え方や価値観に触れ、自分とは異なる考え方を理解することの大切さを学んだ。また、言語が完全に通じなくても、積極的に話しかけたり、身振り手振りを使ったりすることでコミュニケーションを取ることができ、行動することの大切さを実感した。今回の経験を通して、異なる文化や価値観を持つ人と関わることへの抵抗が少なくなり、以前よりも積極的に行動できるようになったと感じている。
今後の目標（短期留学の場合、中長期交換留学への参加希望があれば記載）	バリでは、医療の現場においても患者さん一人ひとりの文化や価値観を尊重することからコミュニケーションを取ることが重要視されていることを学んだ。医療者が患者さんの文化的、社会的な背景を理解し、相手を尊重した対応をすることの大切さを改めて考えるきっかけとなった。将来、日本で薬剤師として働く際にも、日本人だけでなく様々な国や文化的背景を持つ患者さんと接する機会があると思う。その際には、患者さん一人ひとりの価値観や考え方を尊重し、安心して相談してもらえる薬剤師になりたい。今回の経験をきっかけに、今後も海外の医療や国際交流に関心を持ち、機会があれば積極的に海外での学びにも挑戦したい。
来年度以降の参加者へのメッセージ	普段の生活ではなかなかできない貴重な経験がたくさんできるので、少しでも海外に興味がある人にはぜひ参加してほしいと思います。実際に異文化に触れることで視野が広がり、これまでとは違った考え方や価値観を知ることができると思います。また、海外での生活に不安がある人でも、日本の学生も多く参加しているため、安心して参加することができます。本当に濃い10日間を過ごすことができ、いい経験して良かったと思いました!!

＊文字数に上限はありません。枠をはみ出してしまう場合には、枠を適宜広げてお書き下さい。

＊報告書に記載された情報は、海外語学研修・交換留学プログラムの運営、その他、海外留学や語学留学の運営に利用します。

海外語学研修・交換留学報告書

（様式４）

交換留学及び語学研修に参加する皆さんは、帰国後に海外留学報告書を提出することになっています。つきましては、下記の様式を使用して、帰国後１ヶ月以内に提出してください。福山大学海外留学奨学金の授与に関しても、同報告書を提出することが必須条件です（奨学金の授与の詳細・日程については、帰国後に改めて連絡します）。

※ 提出先：学務部国際交流課　int@fukuyama-u.ac.jp

※ 後輩学生のために、留学生活の様子が分かる写真・動画を出来るだけ多くご提供ください。

※ 提出した報告書の内容及び写真・動画は、ホームページ・学報・大学要覧などの広報媒体に掲載されることがあります。掲載を希望しない場合は、本様式の欄外にその旨を記載する方法で申し出てください。

※

氏名	清水彩楽	留学先大学	ウダヤナ大学
学部・学科	薬	留学の種類	語学・交換・その他（ 医療 ）
学生番号	7124046	留学期間	2026年8月9日～2026年8月18日

1．留学前

留学の動機・目標	インドネシア・バリ島に興味があったから。バリの伝統医療を知りたかった。

2．留学中

授業内容	バリの文化と、バリに根付く伝統医療について学んだ。また、病院の見学ができた。
ホテル ~~ホームステイ や寮での生活~~	ホテルに滞在していたので、日本のホテルと同じ感覚で寝泊まりできた。

週末の過ごし方	卓月たラインでモーニングコールがあり、卓月は心配しなくてよかった。UMSSはプログラム通りなので、毎日が充実していた。自由行動(1日)やお土産を買う時間もあった。
経費（渡航費、月額生活費、受給奨学金額、旅行費等）	UMSSの参加費用 渡航費用
留学中の記憶に残るエピソード	「カメ」を海にかえすプログラムは、とても楽しかった。波が強くて、「カメ」がとても心配になった。海につきますようにと、皆が真剣にながめていた。
3．留学後	
留学目標の達成度 どのような点で成長したと感じるか	英語のリスニング力が向上した。 また、多くの友人を得ることができた。 バリの伝統についても知ることができた。
今後の目標（短期留学の場合、中長期交換留学への参加希望があれば記載）	色々な国の伝統医療を知りたいと思った
来年度以降の参加者へのメッセージ	カルチャーナイトは準備がしろよ。

＊文字数に上限はありません。枠をはみ出してしまう場合には、枠を適宜広げてお書き下さい。

＊報告書に記載された情報は、海外語学研修・交換留学プログラムの運営、その他、海外留学や語学留学の運営に利用します。

海外語学研修・交換留学報告書

（様式４）

交換留学及び語学研修に参加する皆さんは、帰国後に海外留学報告書を提出することになっています。つきましては、下記の様式を使用して、帰国後１ヶ月以内に提出してください。福山大学海外留学奨学金の授与に関しても、同報告書を提出することが必須条件です（奨学金の授与の詳細・日程については、帰国後に改めて連絡します）。

※ 提出先：学務部国際交流課　int@fukuyama-u.ac.jp

※ 後輩学生のために、留学生活の様子が分かる写真・動画を出来るだけ多くご提供ください。

※ 提出した報告書の内容及び写真・動画は、ホームページ・学報・大学要覧などの広報媒体に掲載されることがあります。掲載を希望しない場合は、本様式の欄外にその旨を記載する方法で申し出てください。

※

氏名	堂前 日菜子	留学先大学	ウダヤナ大学
学部・学科	薬学部・薬学科	留学の種類	語学・交換・その他（医系サマースクール）
学生番号	7124059	留学期間	2026 年 8月 9日～ 2026年 8月 18日

1．留学前	
留学の動機・目標	海外の医療系の大学や国内の医療系の他大学の方と交流できるということが滅多にない機会だと思い、参加しました。特に、他国の病院見学や大学講義を受けるのははじめてだったため、日本との違いなどに注目しながら、インドネシア バリ島 ならではの特色が知れることに期待し、学びを得たいと思っていました。
2．留学中	
授業内容	ウダヤナ大学における講義としては、２コマであり、１つ目は バリ島における医療の捉え方について、２つ目は 旅行者の健康についてでした。すべて英語での授業なのですが、別に日本語の資料も頂くことができ、スムーズに理解し学ぶことができました。
ホームステイや寮での生活	私たちは 今回、ホテルでの生活だったのですが、何か不都合があれば フロントの方が 親切に対応してくださり、とても助かりました。

週末の過ごし方	フリータイムでは、私たちのグループはバリ島の遊園地に行ったり、かわいいカフェに行ったりしました。移動は Grab というアプリを使い、タクシーを利用しました。とても安く、またインドネシアは横断歩道がほとんどなく、徒歩が危険なため、安全に移動する手段として助かりました。
経費（渡航費、月額生活費、受給奨学金額、旅行費等）	参加費：105,000円 渡航費（飛行機代）：150,000円 旅行費：50,000円
留学中の記憶に残るエピソード	私は留学中に体調を崩してしまい、現地のサポート役の学生の方に病院につれて行ってもらいました。そこで不安だった自分を、身振りなどで"大丈夫"と伝え、治療してくださった医師や看護師の方にとても感謝しています。英語も少ししかできない自分を励ましてくれるなど、とても良い思い出となりました。
3．留学後	
留学目標の達成度 どのような点で成長したと感じるか	実際にバリ島の病院を見学し、さらに直接医療を受けたことで、日本と近い水準の医療サービスが提供されていることを学びました。また、あまり英語が使えなかったが、積極的に話すことで英語力が上がったと感じました。さらに、ウダヤナ大学の方にインドネシア語やバリ語を学び、自身のコミュニケーション能力の向上も感じられました。
今後の目標（短期留学の場合、中長期交換留学への参加希望があれば記載）	今回得られた英語力やコミュニケーション能力を下げてしまわぬよう、英語の勉強を継続して行いたいです。また、もし機会があれば、他国の医療について学べるような留学に再び参加したいです。
来年度以降の参加者へのメッセージ	10日間という短い期間ですが、ウダヤナ大学のサマースクール実行委員の方々が私たちが楽しめ、学べるより深い体験のできるスケジュールを組んでくださっているため、とても濃い日々を過ごすことができました。もし、少しでも迷っている方や、不安がある方も、現地でのサポート体制は万全だと思うので、ぜひ参加してみてください。

＊文字数に上限はありません。枠をはみ出してしまう場合には、枠を適宜広げてお書き下さい。

＊報告書に記載された情報は、海外語学研修・交換留学プログラムの運営、その他、海外留学や語学留学の運営に利用します。

海外語学研修・交換留学報告書

（様式４）

交換留学及び語学研修に参加する皆さんは、帰国後に海外留学報告書を提出することになっています。つきましては、下記の様式を使用して、帰国後１ヶ月以内に提出してください。福山大学海外留学奨学金の授与に関しても、同報告書を提出することが必須条件です（奨学金の授与の詳細・日程については、帰国後に改めて連絡します）。

※ 提出先：学務部国際交流課　int@fukuyama-u.ac.jp

※ 後輩学生のために、留学生活の様子が分かる写真・動画を出来るだけ多くご提供ください。

※ 提出した報告書の内容及び写真・動画は、ホームページ・学報・大学要覧などの広報媒体に掲載されることがあります。掲載を希望しない場合は、本様式の欄外にその旨を記載する方法で申し出てください。

※

氏名	三好 真央	留学先大学	ウダヤナ大学
学部・学科	薬学部・薬学科	留学の種類	語学・交換・その他（UIMSS 2026）
学生番号	7124092	留学期間	2026年8月9日～2026年8月19日
1．留学前			
留学の動機・目標	・海外での医療の現状について興味を持ち、特に薬剤師について知りたいと思った。 ・文化についても学び、それを理解することで、広く多角的な視点で物事を考えることができるようになりたい。 ・海外に行くのは初めてで、語学留学は少しハードルが高いと感じ医療と文化の両方を学ぶことができる良い機会だと思った。		
2．留学中			
授業内容	・Travel Safety, SGD 渡行前の準備，環境リスクと行動リスクなどについての講義。 ・Balinese Dance バリ伝統舞踊について学び、実際に自分たちも踊る。 ・Katha painting class 伝統的な美術について学び、バッグに絵を描く。		
ホームステイや寮での生活（ホテル）	・Herb class ハーブについて学び、ハーブティーを飲むことができる。 宿泊先：Quest Hotel SAN DENPASAR ドアが完全に閉まらなかったりした。		

週末の過ごし方	・10日間はずっとプログラムが組まれており、丸1日休みは無い。 ・他大学からの参加者は、2日分プラスで滞在することで、その2日間はフリーであった。
経費（渡航費、月額生活費、受給奨学金額、旅行費等）	・渡行費：約22万円 ・UIMSS 2026 参加費：約11万円 ・受給奨学金額：留学前3万円＋留学後 ・服，消耗品など：約7万
留学中の記憶に残るエピソード	・残り3日ほどで風邪を引いてしまい、風邪薬を持っていなかったためしんどかった。 ・ATYでビショビショになったが、楽しかった。 ・現地の学生さんはみんな優しく、お菓子やプレゼントをくれてとてもうれしかった。
3．留学後	
留学目標の達成度 どのような点で成長したと感じるか	・バリの文化について学ぶことができ、体験することもできたから、相手の文化を理解した上で考えることの大切さを学べた。 ・自分とは異なる考え方を理解しようとする姿勢が身についた。 ・より多角的に物事を考えられるようになった。
今後の目標（短期留学の場合、中長期交換留学への参加希望があれば記載）	・今回はバリの文化について知れたから、他の全然ちがう文化についても知りたいと思った。
来年度以降の参加者へのメッセージ	・風邪薬を持っていった方が良いです。 ・日本とはトイレの仕方がちがうので、便座や床がビショビショだったり、トイレットペーパーが無いトイレがあるので、除菌シートやティッシュを多めに持っていくことをおすすめします。

＊文字数に上限はありません。枠をはみ出してしまう場合には、枠を適宜広げてお書き下さい。

＊報告書に記載された情報は、海外語学研修・交換留学プログラムの運営、その他、海外留学や語学留学の運営に利用します。

海外語学研修・交換留学報告書

（様式４）

交換留学及び語学研修に参加する皆さんは、帰国後に海外留学報告書を提出することになっています。つきましては、下記の様式を使用して、帰国後１ヶ月以内に提出してください。福山大学海外留学奨学金の授与に関しても、同報告書を提出することが必須条件です（奨学金の授与の詳細・日程については、帰国後に改めて連絡します）。

※ 提出先：学務部国際交流課　int@fukuyama-u.ac.jp

※ 後輩学生のために、留学生活の様子が分かる写真・動画を出来るだけ多くご提供ください。

※ 提出した報告書の内容及び写真・動画は、ホームページ・学報・大学要覧などの広報媒体に掲載されることがあります。掲載を希望しない場合は、本様式の欄外にその旨を記載する方法で申し出てください。

※

氏名	村上　智美	留学先大学	ウダヤナ大学
学部・学科	薬学部薬学科	留学の種類	(語学)・交換・その他（　　）
学生番号	7124094	留学期間	2026年 8月 8日～2026年 8月19日

１．留学前

留学の動機・目標	今まで海外には行ったことがありましたが、インドネシアには訪れたことがなく、自分で行く機会もこれから先あるか分からないと思ったため行ってみようと思いました。 今回の目標は、人見知りではありますが少しでも積極性を持って話しかけに行ったり、英語でのコミュニケーションを意識して、ウダヤナ大学や日本から参加している他大学の学生との交流を深めることでした。

２．留学中

授業内容	座学ではバリ島での医療の形や衛生観点の講義を受けました。医療とは病院だけで扱われるものではなく、祈りや地域衛生も関係があり、最新の医療を用いるだけでなく、伝統的な医療を合わせることで、患者さんが重んじる宗教を尊重し、治療を行う中で心理的・精神的・社会的な面も支えていることを学びました。 ウダヤナ大学や病院、博物館や美術館の見学、バリ島の伝統的なダンス・アートの体験、ハーブについて学ぶ日もあり、医療のことだけでなく、様々な文化についても体験を通して知ることができたと思います。
ホームステイや寮での生活	ホテルでは、部屋は2人または3人部屋で、朝食はビュッフェがあり、昼食でも時にはビュッフェで食べることがありました。主にあんかけ料理のようなものと鶏肉の料理が多いイメージでした。プログラムが終了してホテルに戻る時間は日によってバラバラでしたが、10日間という滞在期間があったので、ほとんど毎日洗濯をしました。

週末の過ごし方	プログラムが週末に関係なくありましたが、フリータイムが半日ある時には、Grabという配車サービスを利用してショッピングモールを複数訪れて、お土産などを買いに行きました。また、インドネシア料理はプログラム中に訪れるレストランなどで食べていたため、フリータイムではバリ島で展開されている日本料理や、マクドナルドに行って、日本で食べるものとの違いを楽しみにいきました。
経費（渡航費、月額生活費、受給奨学金額、旅行費等）	・渡航費(飛行機、新幹線など):20万円 ・留学費(宿泊費や用意された食事を含む):10万円
留学中の記憶に残るエピソード	インドネシアでは車からバイクが主な移動手段であり、バイクが日本とは比べ物にならないほど多く走っていたり、ほとんど歩行者を見かけなかったことと、バイクに乗る際はヘルメットをつけることが決められているため、ヘルメットだけを売っているお店を何軒か見つけて驚きました。 海に亀を放流する体験で砂浜に行った際に、海の綺麗さだけでなく、波が思った以上に大きかったことが印象的でした。
3．留学後	
留学目標の達成度 どのような点で成長したと感じるか	ウダヤナ大学の学生さんに日本語の意味などを聞かれて英語で教えることがあったり、好きなものについて語り合うことが出来たので少し成長できたと思います。会話をする際には翻訳アプリを使う場面もありましたが、最後に分かれる際に感謝の言葉は自分の言葉でしっかり伝えることが出来て良かったと思いました。 また、日本から参加していた他大学の薬学部の方とも交流することが出来て、とても良い機会だったと感じました。
今後の目標（短期留学の場合、中長期交換留学への参加希望があれば記載）	今後はより円滑にコミュニケーションを取れるようにすることを目指して英語を勉強して、長期休暇の間に参加できるものがあればまた参加したいなと思いました。
来年度以降の参加者へのメッセージ	生の食べ物や水など、お腹を壊してしまうことを懸念して腹痛になった際の薬などは持参して行きましたが、実際にはプログラム中に風邪を引いている人が何人かいたので、そういった体調不良の際の対処法もしっかり考えていった方が良いと感じました。 配車サービスは事前に支払うシステムがあったため便利でしたが、宅配サービスなどでピザを頼んだり、露店での買い物で料金を高く請求されたという話も聞いたので注意が必要かなと思います。

＊文字数に上限はありません。枠をはみ出してしまう場合には、枠を適宜広げてお書き下さい。

＊報告書に記載された情報は、海外語学研修・交換留学プログラムの運営、その他、海外留学や語学留学の運営に利用します。

海外留学報告書

（様式４）

交換留学及び語学留学に参加する皆さんは、帰国後に海外留学報告書を提出することになっています。つきましては、下記の様式を使用して、帰国後１ヶ月以内に提出してください。福山大学海外留学奨学金の授与に関しても、同報告書を提出することが必須条件です（奨学金の授与の詳細・日程については、帰国後に改めて連絡します）。

※ 提出先：学務部国際交流課　int@fukuyama-u.ac.jp

※ 後輩学生のために、留学生活の様子が分かる写真・動画を出来るだけ多くご提供ください。

※ 提出した報告書の内容及び写真・動画は、ホームページ・学報・大学案内などの広報媒体に掲載されることがあります。掲載を希望しない場合は、本様式の欄外にその旨を記載する方法で申し出てください。

※

氏名	奥田　真衣	留学先大学	ウダヤナ大学
学部・学科	薬学部薬学科	留学の種類	語学・交換・その他（　医療　）
学生番号	7125017	留学期間	2026年８月９日～2026年８月18日
１．留学前			
留学の動機・目標	動機：夏休みの時間を有効活用して、学びに時間を費やしたかったから。 勉強した英語がどのくらい日常で通じるか確かめたかったから。 目標：たくさんの現地の人と出来るだけ英語で会話する。 彼らの姿勢、文化、医療等に興味を持って学び、吸収する。		
２．留学中			
授業内容	ウダヤナ大学では、旅行中にかかりやすいマラリヤやデング熱などの病気やけがの予防についての講義を受け、現地の人が病気にかかった時の慣習を教わりました。学生プロジェクトでは、病気になった時の対処方法について参加者同士でディスカッションを行いました。 病院訪問では病院の概要を説明してもらい、病院の中を見学させてもらいました。 その他、バリ島のダンス体験、ケチャックダンス公演見学、寺院散策、絵画教室、ハーブ教室、レクリエーションスポーツ、文化交流、博物館見学、子亀の放流、ヨガ、ウォータースポーツアクティビティ等に参加しました。		
ホームステイや寮での生活	終始ひとつのホテルに滞在しました。２人部屋でした。毎日、１日の活動時間が長く、とても疲れました。部屋に戻ると、風呂に入って、洗濯して、寝るだけでした。洗濯はハウスキーピングに頼んだり、外部のコインランドリーを利用したりする方法もありましたが、節約と安全のため、風呂で手洗いしました。		

週末の過ごし方	期間が短かったので、休みの日はありませんでした。そのためフリータイムが長かった日について説明しようと思います。 ８日目は、早朝にヨガをして、10時くらいからフリータイムでした。連日拘束時間が長く、疲れがたまっていたので、外出せず、休養しました。昼食はホテル内で買ったハンバーガーにしました。日本食が恋しくなっていたところ、外出した同部屋の子がテイクアウトで買ってきてくれたうどんを、夕食にしました。
経費（渡航費、月額生活費、受給奨学金額、旅行費等）	・経費 渡航費：約22万円，最寄り駅から空港までの交通費：約２万円， インドネシアビザ：約5000円，バリ島観光税：約1300円， Udayana International Medical Summer School参加費：約11万円， 保険：約6000円 ・奨学金 福山大学給付奨学金：６万円，人材育成寄附金奨学金：２万円
留学中の記憶に残るエピソード	病院見学が一番記憶に残りました。インドネシアでは、患者さんの考え方を優先し、伝統や宗教、スピリチュアルな面を重んじつつ、西洋の最新の医療を取り入れ、適切な治療が行われているようでした。設備が整っていて、集中治療室は私が見た日本のものとは違い、簡易な仕切りではなく、完全な個室でした。大部屋でも隣の人が何をしているのか見えないような環境で、大きな物音以外は気にならなそうでした。また、薬局の薬袋は、日本のような用法や用量の表示がなく、まるでブランドの紙袋のようでした。さらに、美容クリニックと一緒になっているからか、スパのような場所があり、美容室のようなきれいな設備で洗髪しているようでした。バリ島は観光客も多いため、病院のスタッフはインドネシア語だけでなく、英語、日本語も堪能でした。患者を選ばない姿勢は学んでいきたいと思いました。
3．留学後	
留学目標の達成度 どのような点で成長したと感じるか	英語で会話したかったのですが、現地の人は優しいから、私たちに日本語で話そうとしてくれたり、翻訳機を使って教えてくれたりしたので、思ったより英語を聞きませんでした。しかし、私からは英語で話しかけ、簡単な英語で料理のメニューや、学科を聞いたりしました。最近勉強に対してのモチベーションが下がっていたので、福山大学や他大学の人たちと交流し、同じ目標をもつ仲間やライバルができて、刺激になり、夢に向かって勉強をしたいと思えるようになりました。
今後の目標（短期留学の場合、中長期交換留学への参加希望があれば記載）	もっと英語をすらすら話せるようになりたいので、英検準一級や他の様々な資格を取得していきたいです。

来年度以降の参加者へのメッセージ	申し込みの手続きが大変で、期限が早いものがあるので気をつけてください。 それが終わったら、楽しい留学が待っています。

＊文字数に上限はありません。枠をはみ出してしまう場合には、枠を適宜広げてお書き下さい。
（Word 版：国際交流課ホームページからダウンロード可）

＊報告書に記載された情報は、海外語学留学・交換留学プログラムの運営、その他、海外留学や語学留学の運営に利用します。

海外語学研修・交換留学報告書

（様式４）

交換留学及び語学研修に参加する皆さんは、帰国後に海外留学報告書を提出することになっています。つきましては、下記の様式を使用して、帰国後１ヶ月以内に提出してください。福山大学海外留学奨学金の授与に関しても、同報告書を提出することが必須条件です（奨学金の授与の詳細・日程については、帰国後に改めて連絡します）。

※ 提出先：学務部国際交流課　int@fukuyama-u.ac.jp

※ 後輩学生のために、留学生活の様子が分かる写真・動画を出来るだけ多くご提供ください。

※ 提出した報告書の内容及び写真・動画は、ホームページ・学報・大学要覧などの広報媒体に掲載されることがあります。掲載を希望しない場合は、本様式の欄外にその旨を記載する方法で申し出てください。

※

氏名	高尾 歩佳	留学先大学	ウダヤナ大学
学部・学科	薬学部B 薬学科	留学の種類	語学・交換・(その他)（サマースクール）
学生番号	7125042	留学期間	2026 年 8 月 9 日～ 2026 年 8 月 18 日
1．留学前			
留学の動機・目標	自分の国との違いを知り、互いにリスペクトを忘れないことです。		
2．留学中			
授業内容	・Grand Opening ・キャンパスツアー ・病院訪問 ・ケチャック公演 ・絵画クラス ・ハーブ教室 ・博物館見学 ・ヨガ ・ウォータースポーツアクティビティ などのたくさんのプログラムがあります。		
ホームステイや寮での生活	毎日早起きをしてホテルのレストランで朝ごはんを食べていました。		

週末の過ごし方	週末も予定が決められているので スケジュール通りの行動をしました。
経費（渡航費、月額生活費、受給奨学金額、旅行費等）	大学等からいただいた3万円（ありがとうございます） 渡航元費 約20万円程度 サマーキャンプの参加費用 10万円程度
留学中の記憶に残るエピソード	深夜便の到着飛行機で空港で 困ったことや辛かったことはなかったかと 石確認してくれたことです。
3．留学後	
留学目標の達成度 どのような点で成長したと感じるか	文化も生活も食事も違うことをお互いが 理解しあい、リスペクトしながら過ごす ことができました。
今後の目標（短期留学の場合、中長期交換留学への参加希望があれば記載）	今後の目標は日本と遠く離れた国に 私の夢を応援していると伝えてくれた 友達に感謝し、勉学に努めたいと 考えます。
来年度以降の参加者へのメッセージ	何も恐れずたくさんのことにチャレンジする大切さ を学ぶことができました。

＊文字数に上限はありません。枠をはみ出してしまう場合には、枠を適宜広げてお書き下さい。

＊報告書に記載された情報は、海外語学研修・交換留学プログラムの運営、その他、海外留学や語学留学の運営に利用します。

海外留学報告書

（様式４）

交換留学及び語学留学に参加する皆さんは、帰国後に海外留学報告書を提出することになっています。つきましては、下記の様式を使用して、帰国後１ヶ月以内に提出してください。福山大学海外留学奨学金の授与に関しても、同報告書を提出することが必須条件です（奨学金の授与の詳細・日程については、帰国後に改めて連絡します）。

※ 提出先：学務部国際交流課　int@fukuyama-u.ac.jp

※ 後輩学生のために、留学生活の様子が分かる写真・動画を出来るだけ多くご提供ください。

※ 提出した報告書の内容及び写真・動画は、ホームページ・学報・大学案内などの広報媒体に掲載されることがあります。掲載を希望しない場合は、本様式の欄外にその旨を記載する方法で申し出てください。

※

氏名	河内陽葉	留学先大学	ウダヤナ大学
学部・学科	薬学部薬学科	留学の種類	（語学）・交換・その他（　　）
学生番号	7124039	留学期間	2026年8月9日～2026年8月18日
１．留学前			
留学の動機・目標	いろいろな国の医療に関する学生と交流ができると知り、インドネシアの文化に触れると共に医学的な知識も深められると考えました。また、現地の学生と積極的にコミュニケーションをとり、実践的な語学力を身につけたいと考えました。		
２．留学中			
授業内容	・バリの医療は、病気だけを診るのではなく、患者の精神面も診る。 ・伝統的な医療と最新の医療を組み合わせた医療を提供していく。		
ホームステイや寮での生活	歯磨きの際に使用する水は、近くのコンビニで購入しました。 朝食は毎朝ホテルでとりました。比較的脂っこいものが多いです。スイカがおいしいです。 洗濯は現地の安価なコインランドリーに持って行ってもらいました。 お手洗いでは、紙はゴミ箱に捨てます。		

週末の過ごし方	空き時間には友人と出かけました。 タクシーが安価なため移動は基本タクシーでした。 おしゃれなカフェに行ったり、屋上にローラーコースターがあるショッピングモールに行きました。
経費（渡航費、月額生活費、受給奨学金額、旅行費等）	渡航費：16万円 生活費：11万円 観光税：1,400円 VISA：4,800円 保険料：6,000円
留学中の記憶に残るエピソード	カルチャーナイト それぞれの国ごと、大学ごとに伝統衣装を身にまとい、出し物をしました。 日本の学生はソーラン節を踊ったり、マツケンサンバを踊りました。中でもAKB48の曲はインドネシアでも有名でみんなで歌いました。 お互いの文化にふれあい、より関係を深められました。
3．留学後	
留学目標の達成度 どのような点で成長したと感じるか	自分の語彙力だけでコミュニケーションするよう心がけました。 先に頭で考えて完璧な文法で会話して、会話のテンポが遅れてしまうことが多かったのですが、この留学を通して、自分の言葉ですぐに伝える会話ができました。 失敗を怖がらずたくさん会話することができました。
今後の目標（短期留学の場合、中長期交換留学への参加希望があれば記載）	より会話を楽しむためには語学力、特にリスニング力が自分には必要だと痛感しました。英語を聞くことをやめずに、速いスピードの英語の会話も聞き取れるようにしたいです。 また、正しい発音で話せるようになりたいです。自分の英語を聞き取ってもらえないことがあったので、正しい発音を身につけたいです。
来年度以降の参加者へのメッセージ	英語が流暢に話せなくても問題はないです。 現地の方々は優しく、日本語をたくさん覚えて、話しかけてくれます。 大自然の中でアクティビティをしたり、ローカルフードを食べたり、日本にいたら体験できないことがたくさん体験できます。

＊文字数に上限はありません。枠をはみ出してしまう場合には、枠を適宜広げてお書き下さい。
（Word版：国際交流課ホームページからダウンロード可）

＊報告書に記載された情報は、海外語学留学・交換留学プログラムの運営、その他、海外留学や語学留学の運営に利用します。

海外語学研修・交換留学報告書

（様式４）

交換留学及び語学研修に参加する皆さんは、帰国後に海外留学報告書を提出することになっています。つきましては、下記の様式を使用して、帰国後１ヶ月以内に提出してください。福山大学海外留学奨学金の授与に関しても、同報告書を提出することが必須条件です（奨学金の授与の詳細・日程については、帰国後に改めて連絡します）。

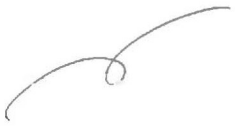
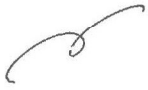
※ 提出先：学務部国際交流課　int@fukuyama-u.ac.jp

※ 後輩学生のために、留学生活の様子が分かる写真・動画を出来るだけ多くご提供ください。

※ 提出した報告書の内容及び写真・動画は、ホームページ・学報・大学要覧などの広報媒体に掲載されることがあります。掲載を希望しない場合は、本様式の欄外にその旨を記載する方法で申し出てください。

※

氏名	西原 妃麗	留学先大学	ウダヤナ大学
学部・学科	薬学部薬学科	留学の種類	語学・交換・(その他)（サマースクール）
学生番号	7124068	留学期間	2026 年 8 月 9 日～ 2026 年 8 月 19 日
1．留学前			
留学の動機・目標	医療や文化を学ぶこと		
2．留学中			
授業内容	○病院見学　○薬物館見学　など ○バリの伝統舞踊を学んだ ○レッグクラス ○ヨガセッション ○絵画体験 ○ケチャ鑑賞		
ホームステイや寮での生活			

週末の過ごし方	
経費（渡航費、月額生活費、受給奨学金額、旅行費等）	飛行機代 約15万、空港までの交通費約25000円 授業料 約15万
留学中の記憶に残るエピソード	・ケチャの鑑賞 日本では楽器を使用するような出し物が多いがバリの伝統文化のケチャでは自分自身で声を出し、みんなでリズムをとって1つの作品を作っておりすごいなと思った。 ・日本人は周りの人に影響されやすかったり、合わせたりという文化があるがバリの人たちは自分をすごくもっていて周りの目などきにせず自分を主張している感じが良いと思った。
3．留学後	
留学目標の達成度 どのような点で成長したと感じるか	・日本とバリ島の医療や文化の違いを実際に見学したり、体験することができ、多角的な視点を持つことができるようになったと思う。
今後の目標（短期留学の場合、中長期交換留学への参加希望があれば記載）	
来年度以降の参加者へのメッセージ	バリ島現地の医療を同じように学んでいる学生たちと多く関わることができ、コミュニケーション能力を高めたり、医療、文化などの視野を広げることができる良いプログラムである。

＊文字数に上限はありません。枠をはみ出してしまう場合には、枠を適宜広げてお書き下さい。

＊報告書に記載された情報は、海外語学研修・交換留学プログラムの運営、その他、海外留学や語学留学の運営に利用します。

海外語学研修・交換留学報告書

（様式４）

交換留学及び語学研修に参加する皆さんは、帰国後に海外留学報告書を提出することになっています。つきましては、下記の様式を使用して、帰国後１ヶ月以内に提出してください。福山大学海外留学奨学金の授与に関しても、同報告書を提出することが必須条件です（奨学金の授与の詳細・日程については、帰国後に改めて連絡します）。

※ 提出先：学務部国際交流課　int@fukuyama-u.ac.jp

※ 後輩学生のために、留学生活の様子が分かる写真・動画を出来るだけ多くご提供ください。

※ 提出した報告書の内容及び写真・動画は、ホームページ・学報・大学要覧などの広報媒体に掲載されることがあります。掲載を希望しない場合は、本様式の欄外にその旨を記載する方法で申し出てください。

※

氏名	村尾 健輔	留学先大学	ウダヤナ大学
学部・学科	薬学部 薬学科	留学の種類	語学・交換・その他（サマースクール）
学生番号	7125077	留学期間	2026年8月9日～2026年8月18日
1．留学前			
留学の動機・目標	日本と違う文化に触れてみたかったため、サマースクールに参加しました。またバリの医療がどのようなものか、日本との相違点が気になったのでそこを発見するのを目標に挑みました。		
2．留学中			
授業内容	講義ではバリの文化と医療や人々の健康の関係についての講義や、実際に触れながらの薬草の講義がありました。		
ホームステイや寮での生活	私は一人部屋でしたが、隣には同じサマースクールに参加している学生がいたので、不安なことなく過ごせました。		

週末の過ごし方	テガラランン・ライステラスに行って景色を楽しんだり、近くのお土産屋にいって買いものなどを楽しんだ。
経費（渡航費、月額生活費、受給奨学金額、旅行費等）	サマースクール費用（ホテル、食堂など） 約10万円 渡航費（飛行機、ビザなど） 約20万円 旅行費 約2万円
留学中の記憶に残るエピソード	現地の人や他の参加者の人と話してとてもたのしい思い出と残すことができた。別れの際にはプレゼントをくれて、それがとても記憶に残っている。

3. 留学後

留学目標の達成度 どのような点で成長したと感じるか	バリでの人々の生活にバリ独自の文化が根付いていて、それが健康にも寄与していることを学べた。 日本との相違点についてもたくさん発見した。
今後の目標（短期留学の場合、中長期交換留学への参加希望があれば記載）	今回のサマースクールで学んだことを生かして、今後の学校生活や、仕事を~~好奇心~~していきたい。
来年度以降の参加者へのメッセージ	このサマースクールは日本とは違う文化を学べるいい機会だったと思います。 そして現地の学生が積極的に私たちをサポートしてくださったので、安心してすごすことができると思います。

＊文字数に上限はありません。枠をはみ出してしまう場合には、枠を適宜広げてお書き下さい。

＊報告書に記載された情報は、海外語学研修・交換留学プログラムの運営、その他、海外留学や語学留学の運営に利用します。